

土地取得に至る経過、地域の現状と課題

令和元年8月16日（金）
武蔵野市 総合政策部 資産活用課

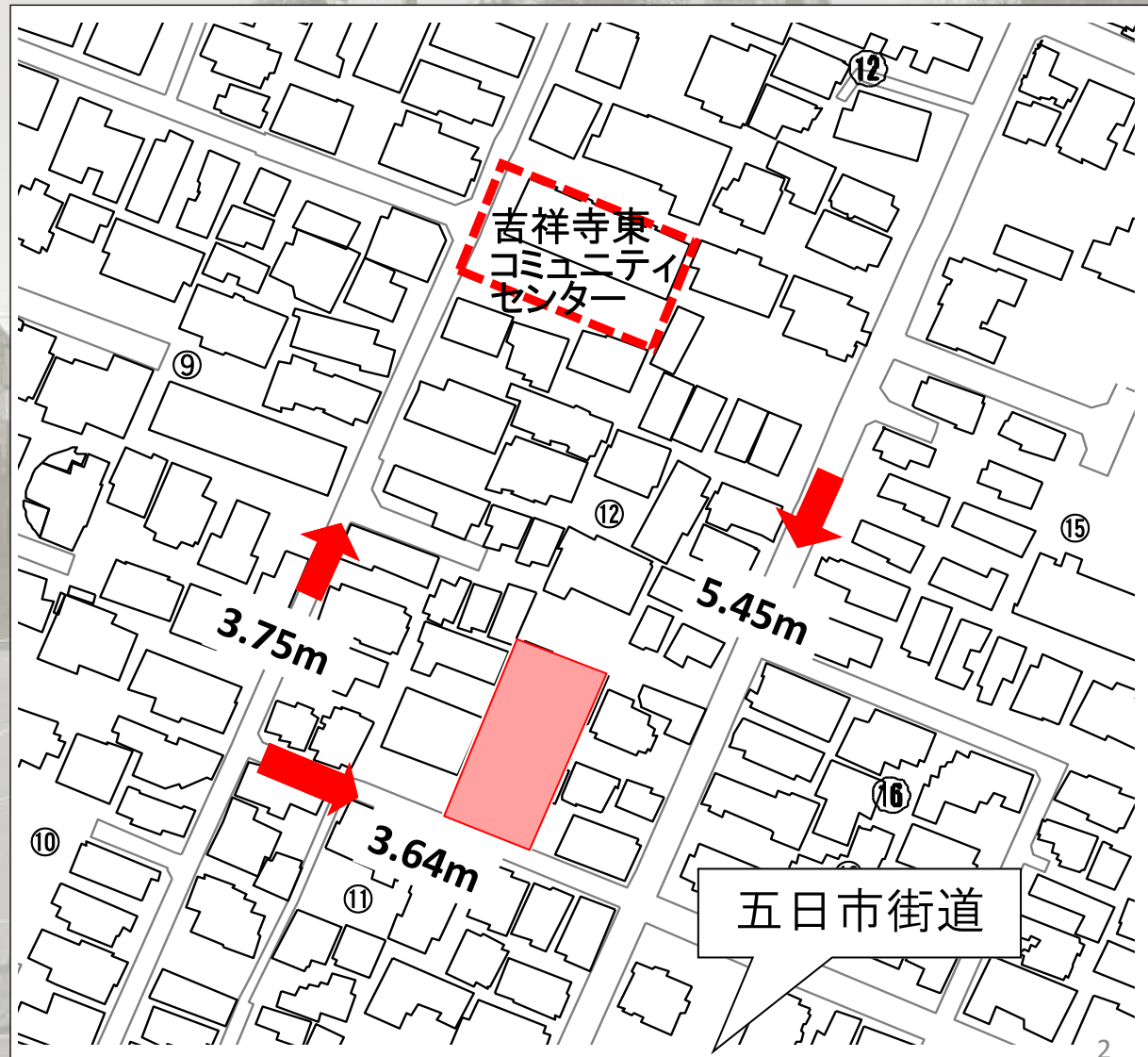
土地の概要・周辺状況

敷地面積

約600㎡強
(約200坪)

周辺道路

一方通行
⇒車でのアクセス
は不便？



土地の概要・周辺状況

バス路線図



駅から徒歩約8分

最寄りのバス停から
徒歩約3分



土地の概要・周辺状況

ムーバス路線図



最寄りの
ムーバスバス停から
徒歩約4分



出典：「平成30年版 武蔵野市地域生活環境指標」

土地の概要・周辺状況

●第一種低層住居専用地域

⇒低層の住宅地として良好な環境を守る地域です。

【建築できる主な用途】

- * 住宅、共同住宅
- * 小規模な兼用住宅
- * 幼稚園、小・中・高等学校
- * 図書館
- * 老人ホーム、保育所、身体障害者福祉ホーム等
- * 老人福祉センター、児童厚生施設等(600㎡以内)
- * 診療所
- * 交番 など

●建ぺい率 50% / 容積率 100%

⇒建築面積は300㎡(100坪)程度、
延べ床面積は600㎡(200坪)程度まで建てられます。

土地の概要・周辺状況

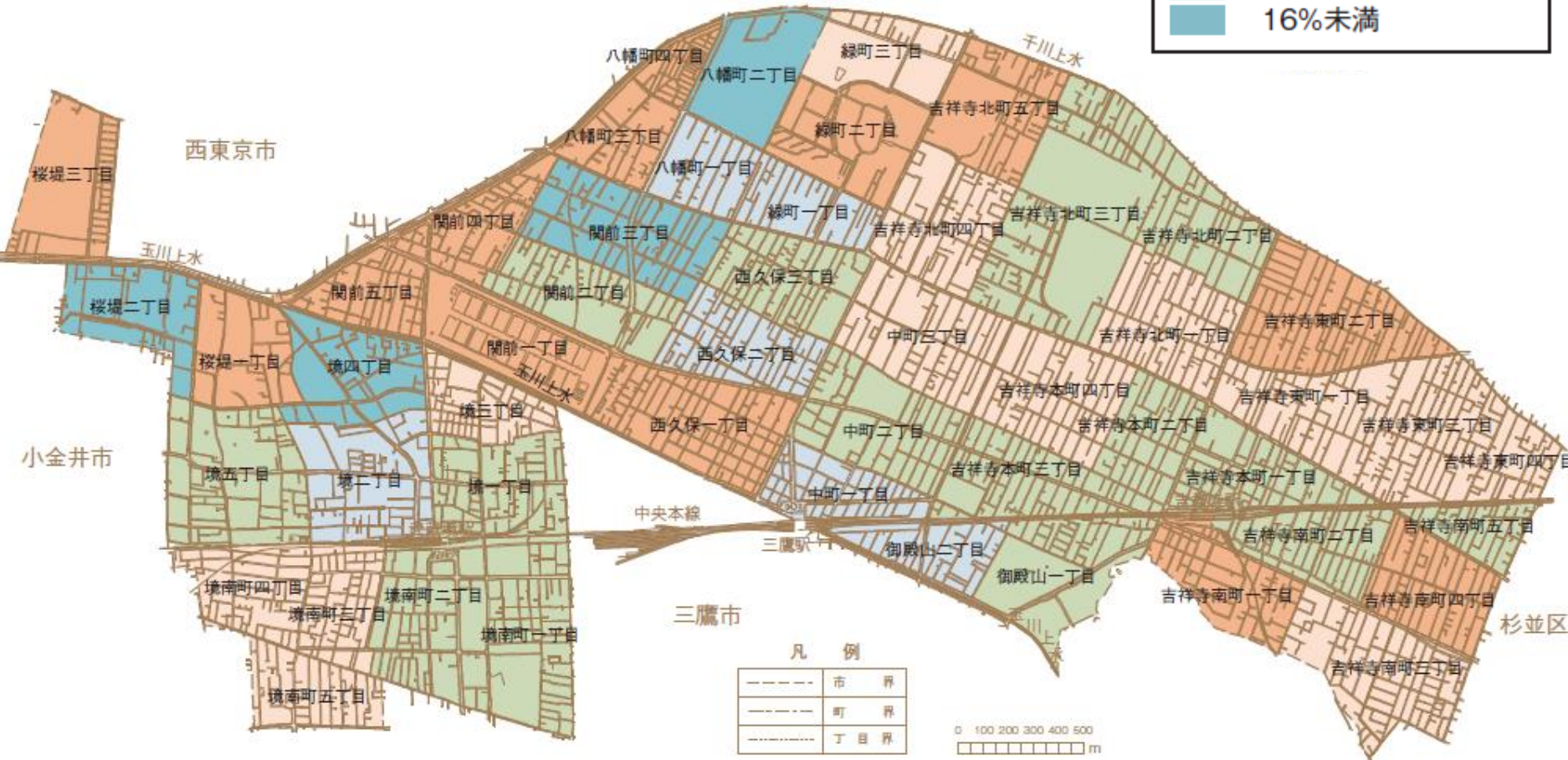
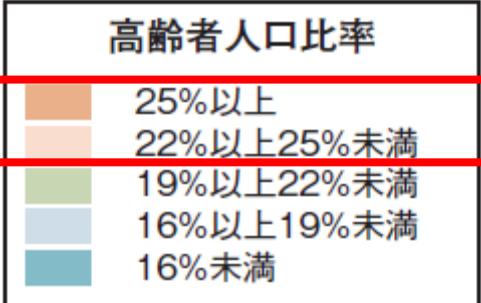


土地の概要・周辺状況



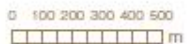
地域の現状

高齢者人口割合(65歳以上人口)



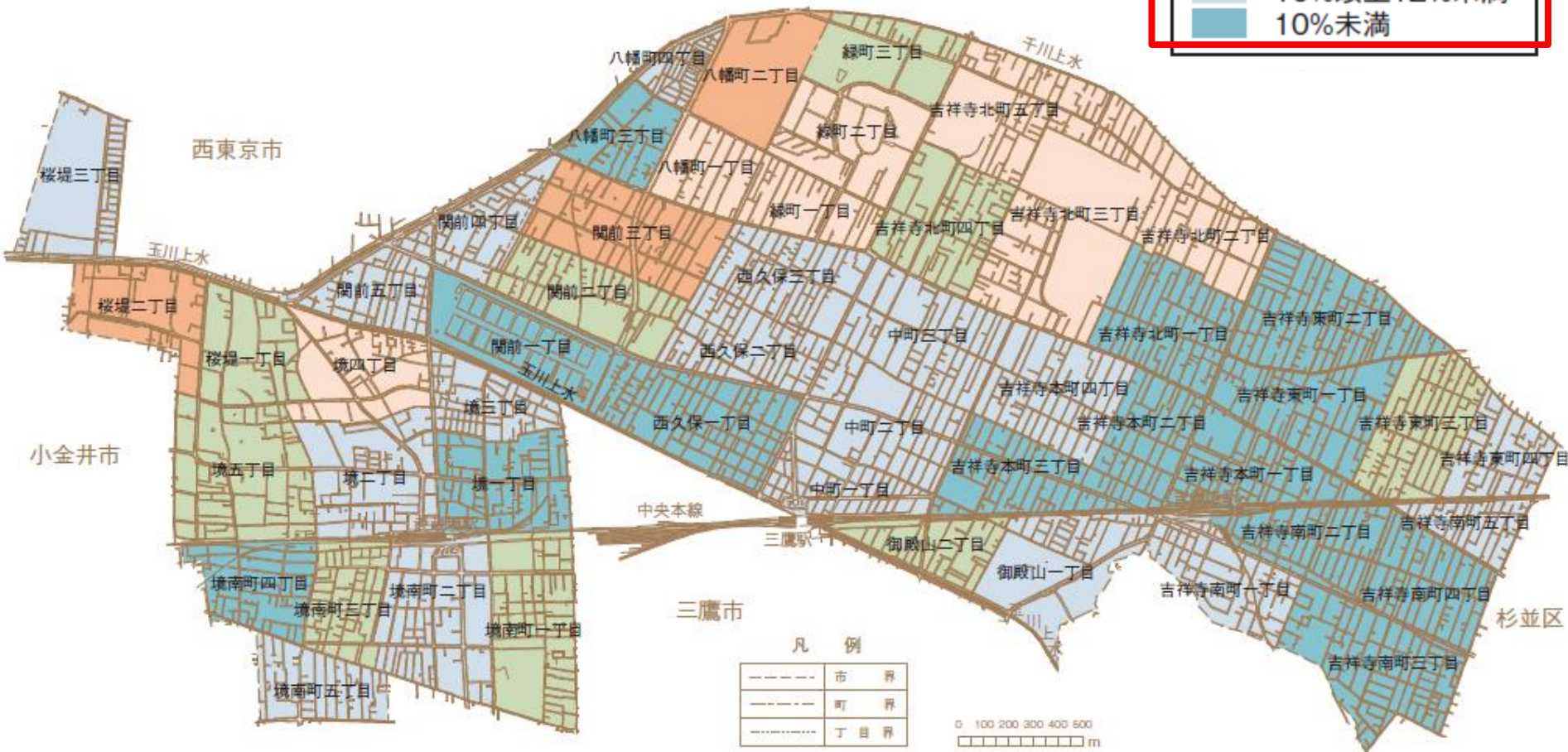
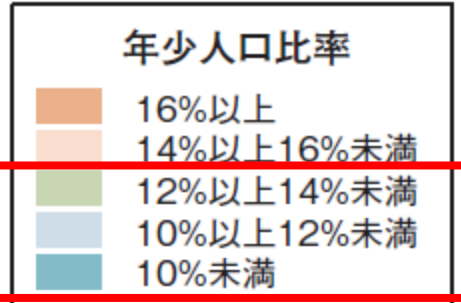
凡例

-----	市界
-----	町界
-----	丁目界



地域の現状

年少人口割合(15歳未満人口)



地域の現状

吉祥寺東町の医療機関

平成30年1月1日現在



①テンミリオンハウス



- ・自力通所が可能だが、地域での見守りや社会とのつながりを必要としている高齢者を主な利用者として想定(乳幼児親子などの来所も可能)

- ・通所により地域へ出かけるきっかけを作り、栄養面に配慮した手作りの昼食で、食事を通じた交流と健康維持を実現

- ・施設ごとに工夫を凝らした多種多様な講座を実施。ショートステイを実施している施設もある。

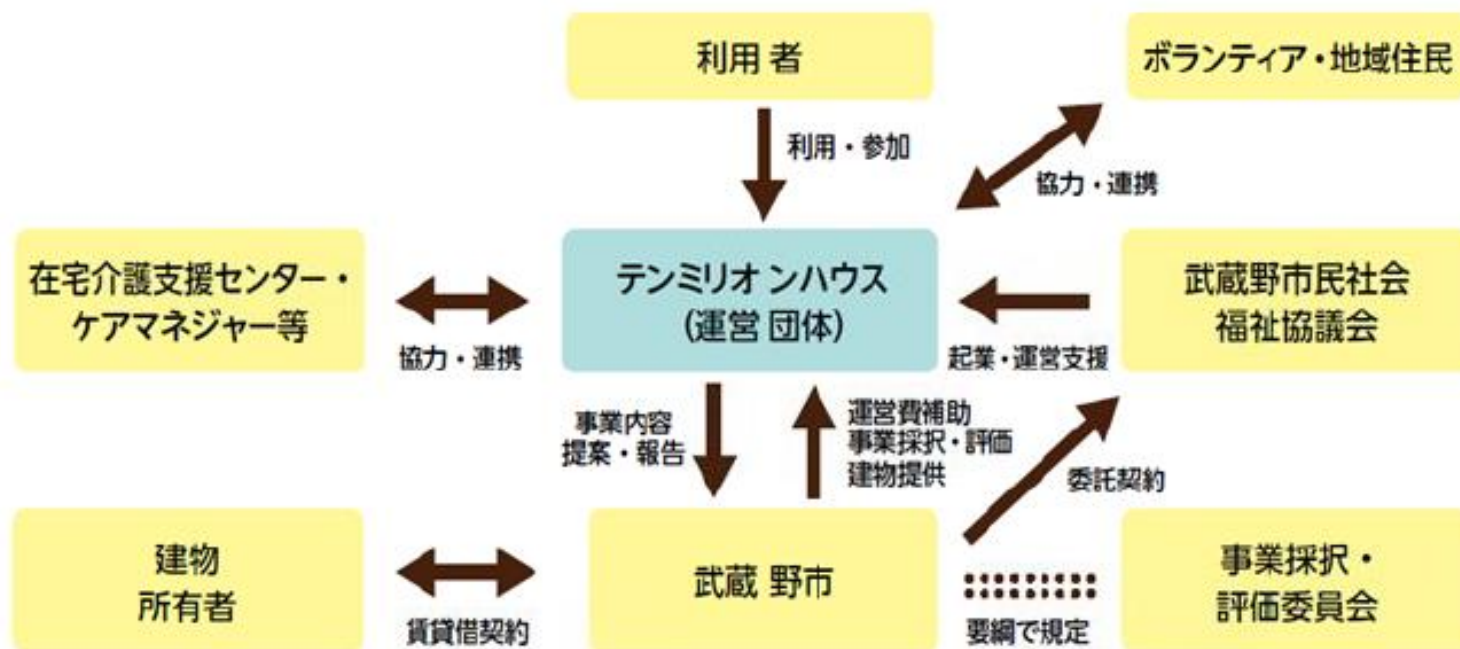
- ・地域の人材と建物を有効活用しながら、市が運営団体に対し年間1千万円(テンミリオン)を上限とする補助を行って運営する「近・小・軽」の家

- ・高齢者が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らし続けるため、地域における『共助』の仕組みとして展開

①テンミリオンハウス

テンミリオンハウスのしくみ

地域での見守りや社会とのつながりが必要な方を支援する施設です。



☆地域の実情に応じた市民などの共助の取組みに対し、武蔵野市が年間1000万円（テンミリオン）を上限とした運営費補助などの活動支援を行っています。現在8カ所開設されています。

【サービス内容】 ミニデイサービス・喫茶・世代間交流・緊急ショートステイなど

②0123施設



- ・0歳～3歳までの乳幼児とその親を対象とした自由来所型の子育て支援施設。

- ・現在市内には0123吉祥寺(吉祥寺東町2丁目)、0123はらっぱ(八幡町1丁目)の2ヶ所が設置されている。

- ・運営は(公財)武蔵野市子ども協会による

地域の子育て支援の中核として「ひろば事業」、「つどい事業」、「相談事業」、「情報提供事業」、「地域交流事業」などの充実した活動を展開

- ・子どもの自由な遊びを通して子どもの発達や親同士の交流を促進し、子育てについての相談や情報提供など、子育ての支援を行うとともに、子ども同士、親同士の交流を地域に拡げる